

資料 1

大分県がん対策推進計画（第4期）について

大分県がん対策推進計画(第4期)概要

全体目標：誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す

大分県のがん対策の経緯

平成19年度 大分県がん対策推進計画策定 (計画期間：H20～H24年度)
平成22年度 大分県がん対策推進条例 ・議員提案による条例制定 ・県民の視点に立った総合的ながん対策の推進
平成24年度 第2期策定(計画期間：H25～H29年度)
平成27年度 がん登録法施行
平成28年度 地域がん登録から全国がん登録集約スタート 大分県がん対策推進条例一部改正
平成29年度 大分県がん対策推進計画(第2期) 評価 第3期策定(計画期間：H30～H35(2023)年度)
令和5年度 大分県がん対策推進計画(第3期) 評価 第4期策定予定(計画期間：R6～R11年度) (国の第4期計画はR5.3月閣議決定)

分野別目標

「がん予防」

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

(1)がんの1次予防

- ・喫煙等の生活習慣の改善
- ・感染症に起因するがんの対策

(2)がんの2次予防

- ・がんの早期発見
- ・がん検診受診率及び精度の向上

「がん医療」

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

(1)がんの各治療法の充実とチーム医療の推進

- ・医療提供体制の均てん化・集約化
- ・がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ・新興感染症のまん延時のがん医療体制

(2)それぞれのがんの特性や世代に応じた対策

- ・希少がん・難治性がん
- ・小児がん・AYA世代のがんについて

「がんとの共生」

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

(1)情報提供・相談支援

- (2)社会連携に基づく緩和ケア等のがん患者支援
- (3)社会参加支援(就労・ピア・アランズケア)

これらを支える基盤の整備

- (1)全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2)人材育成の強化
- (3)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4)がん登録の利活用の推進
- (5)患者・県民参画の推進
- (6)デジタル化の推進



大分県のがんの現状

がん年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対) 出典：人口動態統計

	H25	H28	R1	R4
全がん年齢調整死亡率	72.4	70.5	64.6	63.0

※死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率が年齢調整死亡率である。

がん検診受診率

出典：国民生活基礎調査

	H25	H28	R1	R4
胃がん	40.0%	43.4%	52.0%	51.6%
肺がん	41.8%	49.4%	51.7%	49.8%
大腸がん	35.9%	39.3%	43.6%	45.0%
乳がん	45.6%	49.6%	51.3%	52.6%
子宮頸がん	46.6%	46.9%	49.2%	49.2%

大分県がん対策推進計画（第4期）指標一覧

(*)…15年度末目標

全体目標			
○誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す			
最終アウトカム			
No.	指標	現状値※（ ）内は国の値	目標値
1	がんの年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	63.0（67.4）	53.3
2	がん種別年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	胃がん：4.8（6.2） 肺がん：11.7（11.9） 大腸がん：9.6（9.7） 乳がん：9.2（10.4） 子宮頸がん：5.5（5.1）	胃がん：3.0 肺がん：10.4 大腸がん：6.7 乳がん：9.0 子宮頸がん：4.5
3	がんの年齢調整罹患率	373.8（387.4）	335.7
4	がん種別年齢調整罹患率	胃がん：35.1（41.6） 肺がん：41.6（42.4） 大腸がん：51.0（58.2） 乳がん：91.0（100.5） 子宮頸がん：14.9（13.9）	胃がん：29.5 肺がん：35.2 大腸がん：41.6 乳がん：62.2 子宮頸がん：12.6※全国予測値を採用
5	がん種別5年生存率	胃がん：67.0% 肺がん：43.2% 大腸がん：71.1% 乳がん：94.6% 子宮頸がん：77.5%	増加
6	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	70.8%（70.1%）	増加かつ全国平均以上
分野別目標			
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実			
分野別アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
11	がん種別年齢調整罹患率（胃・大腸・肺・乳房）	胃がん：35.1（41.6） 肺がん：41.6（42.4） 大腸がん：51.0（58.2） 乳がん：91.0（100.5）	胃がん：29.5 肺がん：35.2 大腸がん：41.6 乳がん：62.2
12	がん種別年齢調整罹患率（肝・ATL・子宮頸部）	肝がん：12.9（12.0） ATL：9.2（7.2） 子宮頸がん：14.9（13.9）	肝がん：7.1 ATL：7.2 子宮頸がん：12.6※全国予測値を採用
13	検診がん種別早期がん割合	胃がん：57.5%（59.6%） 肺がん：40.2%（37.0%） 大腸がん：58.1%（59.1%） 乳がん：65.4%（64.7%） 子宮頸がん：84.0%（80.8%）	胃がん：67.5% 肺がん：47.2% 大腸がん：63.7% 乳がん：69.7% 子宮頸がん：84.0%※ ※現状値以上を採用
(1) がんの1次予防			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
11101	特定保健指導の実施率	31.9%	45%以上（*）
11102	生涯健康県おおい推進協力店（食の環境整備部門）の登録数	407店舗	546店舗（*）
11103	地域を対象として、普及啓発に努めている拠点病院の割合	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
11104	HPVワクチン定期予防接種実施率	4,065人	増加
11105	肝疾患専門医療機関数	13医療機関	増加
11106	肝炎医療コーディネーターの養成者数	436人	増加

中間アウトカム				
No.	指標	現状値	目標値	
11201	1日あたりの食塩の摂取量	[国民健康・栄養調査] 男性：11.6g 女性：9.5g [県民健康づくり実態調査] 男性：14.8g 女性：11.3g	[国民健康・栄養調査] 男性：7.5g未満（*） 女性：6.5g未満（*） [県民健康づくり実態調査] 男性：11.4g未満（*） 女性：8.4g未満（*）	
11202	1日あたりの野菜の摂取量	[国民健康・栄養調査] 男性：233g 女性：237g [県民健康づくり実態調査] 男性：257.0g 女性：255.8g	350g以上（*）	
11203	1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合	男性：49.2% 女性：38.6%	男性：56%以上（*） 女性：50%以上（*）	
11204	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性40g以上、女性20g以上）	男性：25.4% 女性：9.5%	男性：13%以下（*） 女性：6.4%以下（*）	
11205	20歳以上の者の喫煙率	男性：27.2% 女性：6.2%	男性：17.5%（*） 女性：3.5%（*）	
11206	20歳未満の喫煙率	0.0%	0.0%（*）	
11207	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	B型受診者数：3,582人 C型受診者数：3,594人	増加	
(2) がんの2次予防				
個別施策（アウトプット）				
No.	指標	現状値	目標値	
12101	がん検診精度管理部会、担当者会議の開催	年1回ずつ開催	年1回ずつ開催	
12102	指針の遵守市町村数	16/18市町村	全市町村	
中間アウトカム				
No.	指標	現状値	目標値	
12201	がん検診受診率	胃がん：51.6% 肺がん：49.8% 大腸がん：45.0% 乳がん：52.6% 子宮頸がん：49.2%	60%	
12202	職域におけるがん検診受診者数	胃がん：96,974人 肺がん：174,370人 大腸がん：136,608人 乳がん：29,124人 子宮頸がん：43,124人	増加	
12203	精密検査受診率	胃がん：87.2% 肺がん：81.2% 大腸がん：78.3% 乳がん：92.2% 子宮頸がん：80.1%	90%	
12204	がん発見率	胃がん：0.11% 肺がん：0.04% 大腸がん：0.21% 乳がん：0.33% 子宮頸がん：0.00%	胃がん：0.11%以上 肺がん：0.03%以上 大腸がん：0.13%以上 乳がん：0.23%以上 子宮頸がん：0.05%以上	
12205	陽性反応的中度	胃がん：1.75% 肺がん：1.94% 大腸がん：3.24% 乳がん：4.33% 子宮頸がん：0.28%※	胃がん：1.0%以上 肺がん：1.3%以上 大腸がん：1.9%以上 乳がん：2.5%以上 子宮頸がん：4.0%以上※	※基準値設定当時から計上方法が変わっており、実態と乖離しているため、今後見直し予定。

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供			
分野別アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
21	がんの診断・治療全体の総合評価（10点満点）	8.2（8.0）	増加かつ全国平均以上
22	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	74.4%（76.3%）	増加かつ全国平均以上
23	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	80.3%（75.2%）	増加かつ全国平均以上
24	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	53.4%（56.1%）	減少かつ全国平均以下
25	精神的な苦痛を抱えるがん患者の割合	52.0%（62.1%）	減少かつ全国平均以下
(1) がんの各医療法の充実とチーム医療の推進			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
21101	BCPを整備している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で整備
21102	常勤の病理専門医が1名以上配置されている拠点病院等の数	5/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21103	がん診療連携拠点病院等の数	拠点病院：6 協力病院：3	各医療圏に最低1つ
21104	がん看護専門看護師数	11名	増加
21105	セカンドオピニオン外来を設置している医療機関数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で設置
21106	厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で登録
21107	放射線治療ができる医療機関数	14施設（4/6圏域）	各医療圏に最低1つ
21108	専門の医療従事者による外来化学療法が受けられる医療機関数	80施設（6/6圏域）	各医療圏に最低1つ
21109	放射線治療専門医が常勤で配置されている拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21110	放射線療法に精通した看護師数	2名	増加
21111	診療放射線技師が2名以上配置されている拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21112	がん専門薬剤師またはがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21113	専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の数	8名	増加
21114	薬物療法に精通した薬剤師数	8名	増加
21115	がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21116	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されている拠点病院等の数	5/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21117	がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21118	リンパ浮腫外来が設置されている拠点病院の割合	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21119	ストーマ外来が設置されている拠点病院の割合	1/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21120	緩和ケア認定看護師数	23名	増加
21121	緩和ケア外来を設置している設置拠点病院数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
21122	緩和ケア病床がある病院	6病院99床（3/6圏域）	全ての医療圏に整備
21123	緩和ケア研修修了者数	1,638人	増加
21124	緩和ケアチーム（PCT）の新規介入患者数	身体症状：294人 精神症状：181人 社会的苦痛：256人	増加

中間アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
21201	専門的な医療を受けられたと思う患者の割合	81.8% (79.0%)	増加かつ全国平均以上
21202	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	32.1% (34.8%)	増加かつ全国平均以上
21203	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	53.9% (48.8%)	増加かつ全国平均以上
21204	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	72.6% (68.8%)	増加かつ全国平均以上
21205	治療による副作用の見通しを持たせた患者の割合	70.8% (63.0%)	増加かつ全国平均以上
21206	医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	75.1% (71.7%)	増加かつ全国平均以上
(2) それぞれのがんの特性や世代に応じた対策			
個別施策 (アウトプット)			
No.	指標	現状値	目標値
22101	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
22102	多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の数	2/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に配置
22103	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
22104	相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数	10件	増加
22105	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
22106	各医療圏の在宅療養支援診療所・病院数	大分県合計：328か所 東部医療圏：73 中部医療圏：145 南部医療圏：26 豊肥医療圏：20 西部医療圏：24 北部医療圏：40	増加
22107	ターミナルケア対応可能訪問看護ステーション数	185施設	増加
22108	各医療圏の訪問看護事業所数	大分県合計：197か所 東部医療圏：45 中部医療圏：96 南部医療圏：11 豊肥医療圏：8 西部医療圏：12 北部医療圏：25	増加
22109	機能強化型訪問看護ステーション数	11か所	増加
中間アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
22201	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	67.3% (51.6%)	増加かつ全国平均以上
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築			
分野別アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
31	相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合	—	全国平均以上
32	ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	—	全国平均以上
33	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	55.3% (47.1%)	増加かつ全国平均以上
34	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	2.2% (5.0%)	減少かつ全国平均以下
35	金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	33.2% (27.1%)	減少かつ全国平均以下
36	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	79.5% (76.5%)	増加かつ全国平均以上
37	身体的・精神的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	67.6% (69.5%)	減少かつ全国平均以下

(1) 情報提供・相談支援			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
31101	がん相談支援センターでの新規相談件数	1,641件	増加
31102	拠点病院における相談支援センターの設置数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等に設置
31103	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の人数	13名 (6/6拠点病院) - 名 (- /3協力病院)	全拠点病院等に設置
31104	提供可能な診療内容を病院ホームページ等で広報している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
中間アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
31201	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	64.1% (66.9%)	増加かつ全国平均以上
31202	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	32.8% (27.5%)	増加かつ全国平均以上
(2) 社会連携に基づくがん患者支援			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
32101	自殺リスクに対し対応方法や関係機関との連携について明確にしている拠点病院の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
32102	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で実施
中間アウトカム ※ (3) 中間アウトカムと共通			
(3) 社会参加支援（就労、アビアランスケア）			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
33101	がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	570件	増加
33102	拠点病院におけるアビアランスに関する相談件数	407件	増加
中間アウトカム			
No.	指標	現状値	目標値
33201	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	34.6% (38.6%)	増加かつ全国平均以上
33202	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	58.8% (54.8%)	増加かつ全国平均以上
33203	退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	53.3% (56.7%)	減少かつ全国平均以下
33204	治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	29.8% (35.6%)	増加かつ全国平均以上
33205	治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合	61.7% (65.1%)	増加かつ全国平均以上
33206	外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	28.4% (28.5%)	増加かつ全国平均以上
33207	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	42.5% (31.9%)	増加かつ全国平均以上
33208	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができと思う患者の割合	49.7% (45.6%)	増加かつ全国平均以上
4. これらを支える基盤の整備			
個別施策（アウトプット）			
No.	指標	現状値	目標値
41101	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	4.2% (11.4%)	増加かつ全国平均以上
41102	がん登録の精度指標としてのMI比・%DCO	MI比：0.38 DCO：4.3%	MI比：0.4程度 DCO：20%未満
41103	拠点病院等における院内がん登録実施施設数	6/6拠点病院 3/3協力病院	全拠点病院等で実施
41104	全国がん登録への参加診療所数	61医療機関	増加
41105	患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している拠点病院等の数	4/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で整備
41106	必要に応じてオンラインでのがん相談を実施している拠点病院等の数	6/6拠点病院 - /3協力病院	全拠点病院等で整備